

I D 問答～新たに始まった、我(ら?)が精神の放浪?!～

作：I & D

⑰「文明(科学?)」の進展が生んだ? 「民主主義」「法治主義」の浮遊(崩壊?)?!

I：そこで、先号(⑩)に続くようですが、これもまた、ここ最近の「難しいテーマ?(社会・政治問題?)」になるかと思いますが、標記のようなことも、一方で思うのですが、いかがですか?

D：ひょっとしたら、その通りかもしれませんね!とにかく、今回のパンデミックとかも含めて、世の中(世界)が、ある種の混乱(混沌?)に陥っているということは事実なのでですか?!

I：そういう中で、我が国のことはもちろんですが、一方で、アメリカの状況は、特に、気になりますよね!直接的には、この度の「大統領選挙」のことですが(とりわけ投票後の状況!),まさに、「民主主義」「法治主義」の崩壊(この場合は乱用?)と言えるのではないのでしょうか?!

D：「プログレッシズム(進歩主義)」とか、「プラグマティズム(実用主義)」とか、アメリカ(人)の歴史的精神基盤のようなものが言われますが、それが、「混乱」や「対決」と、ある意味表裏一体でもある?!しかし、それが、一方では、「自由」、そして、移民国家、「多様(な人種?)」が織りなす「一つの形」なのかもしれません?!

I：それは、改めて、一体何なのでしょうね?どう受け止めればよいのでしょうか?

D：私にも、よく分かりませんが、この「民主主義」「法治主義」については、それが成熟していない?国(地域)はともかく、我が国も含めて、今まさに「浮遊(崩壊?)」しているのは事実でしょうね?!要は、何が善で、何が悪なのか、はっきりとしないということです(→「ブーカ」の時代!)?!

I：先号で言えば、「理性」というものが見えなくなっている?否、「理性」というものに、信頼が置けない?そういうことでしょうか?

D：そうとも言えるでしょうが、形の上では、「民主主義」「法治主義」ということにはなっていますが、ある人達が、それを悪用したり、自分達にとって都合のよいものにしようとしていたりしている?そういうことになりますかね?!

I：ある意味、残念と言えば残念なのですが、それも、一つの「生」?そういうことでしょうか?

D：しかし、そういう中で、やはり正しいものは正しい、悪いものは悪いと、言い続けることは必要ですし、現に、そういう思いや行動を採っている人もいますよね!ただ、怖いのは?、そういうことに対する無関心や、そのことを逆手に取った、ある種の現実主義者の横行です?!

I：それについては、宗教やスピリチュアルなものへの逃避?というようなものも、一方であるかと思いますが、それも含めて、それはそれで、一つの生き方(生き様?)ということにはなりますよね?!

D：確かにね!世の中の悪や矛盾に対する、一人ひとりの向き合い方でもあるわけですので、それはそれでいいのだと思います!しかし、他方で、それが、自死や、他人の命を奪うというようなことにまでつながっていけば、やはりそれは、悪であり、あってはならないものということになります!

I：何か、得体の知れないところまで行きそうですが、いずれにしても、こうしたことは、太古の昔から、人間(集団)が行き着いていた「闇の世界?」かもしれませんね?

D：それは、何とも言えませんが、そうした「闇の世界?」があるからこそ、「天空(太陽/月/星々)」とか、「自然(脅威であり、恩恵でもある!)」とかに「神」の存在を感じ(創り?)、一定の精神世界、つまり「生活上の安心・安定(納得)」を得てきたことは事実なのではないのでしょうか? 「祀りごと(祭祀)」と「政りごと(政治)」が、まさに一体であったということですが、現代(これから)において、その関係が、どのようになっている(く)のか?そういうことが、改めての観点になっていくのかもしれないね?!ある意味、その二つを分断(一つを捨象?)してきた「文明(科学?)の進展」には、思わぬ「副産物(つけ?)」があったということかもしれませんね?!

(つづく)